



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 ニホンフラッシュ株式会社
コード番号 7820 URL <https://www.nfnf.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0885-32-3431

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,184	5.2	1,559	9.7	1,836	11.4	1,219	17.2
2023年3月期第3四半期	20,244	14.3	1,726	54.3	2,073	51.7	1,471	51.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,493百万円 (20.2%) 2023年3月期第3四半期 4,378百万円 (7.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	50.72	
2023年3月期第3四半期	58.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	45,545	33,409	70.4	1,408.06
2023年3月期	43,595	32,868	72.5	1,261.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 32,042百万円 2023年3月期 31,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		18.00		18.00	36.00
2024年3月期		18.00			
2024年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	9.8	3,200	38.8	3,250	22.0	2,300	22.2	95.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2023年8月31日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	25,060,000 株	2023年3月期	25,060,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	2,303,242 株	2023年3月期	3,242 株
------------	-------------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	24,036,394 株	2023年3月期3Q	25,056,758 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限の解除に伴い、社会経済活動の正常化が進み、また円安によるインバウンド需要の回復もあり、個人消費及び企業の設備投資の増加基調が持続し、緩やかな回復傾向が継続しました。しかしながら、長期化するウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化するなど地政学リスクの高まりや世界的なインフレ圧力による金融引き締めが継続されている状況下で、エネルギー価格の高騰、物価高や賃金上昇の影響など、先行きは不透明な状況が続いております。

国内の住宅市場においては、新設住宅着工戸数は、持家、貸家、そして分譲住宅の全てにおいて前年同期比でマイナスとなりました。また、利用関係別戸数において当社のコアとなる分譲住宅においては、前年同期比で6.9%減(179千戸)で、その内、マンション市場は同7.5%減(74千戸)となりました。

このような状況の中、受注残の消化も順調に進み、国内売上高は、前年同期比6.3%増の75億95百万円となりました。また、製造面においても、原材料価格、エネルギー価格、そして人件費等の各コストが上昇している状況下において、生産性向上のため、製造プロセスの見直し、省力化設備の導入や工場レイアウトの改善を継続的に実施し、原価低減を図ってまいりました。

一方、中国においては、当第3四半期連結累計期間(1月～9月)は、年初に「ゼロコロナ政策」の完全解除に伴い、景気回復への期待と不動産市況の改善を考えておりましたが、「ゼロコロナ政策」と過去の「不動産開発業者に対する資金調達総量規制(3つのレッドライン)」の影響力が大きく、依然として厳しい状況下に置かれております。しかしながら、各都市において不動産市況の回復対策として、住宅購入時の頭金比率や住宅ローン金利の引き下げ、そして2軒目住宅購入の制限策撤廃など、8月末から9月初旬にかけて導入され、今後の市況について継続して注視しております。

このような状況の中、本年3月、当社グループの江西省宜春工場では、金属防火ドア(甲級、乙級)、木製防火ドア(甲級、乙級)の製造認定及び工場認定を取得し、製造販売の認定を得ました。また、9月には、新たな製品ラインナップとなる外装防火ドア(玄関ドア)の専門代理店を上海市で営業開始し、拡販体制を整備しました。

さらに、台湾で建設業等を展開する潤泰グループの潤泰精密材料股分有限公司と業務提携に関する協定を締結しました。この業務提携においては、台湾の住宅市場に当社製品の内装住宅部品(インテリアドア、造作材、収納ユニット、流し台)および外装防火ドア(木質、鋼質)を供給します。12月には台北市の潤泰グループが運営する商業施設内にショールームの開業をしました。

以上の結果、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、191億84百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は、15億59百万円(同9.7%減)、経常利益は、18億36百万円(同11.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、12億19百万円(同17.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は455億45百万円となり、前連結会計年度末より19億49百万円増加しております。これは主に投資有価証券の増加4億93百万円、投資不動産の増加13億25百万円によるものです。

負債合計は121億36百万円となり、前連結会計年度末より14億8百万円増加しております。これは主に支払手形及び買掛金の増加4億94百万円、電子記録債務の増加4億16百万円、短期借入金の増加8億93百万円、その他の流動負債の減少2億33百万円によるものです。

純資産合計は334億9百万円となり、前連結会計年度末より5億40百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加3億50百万円、為替換算調整勘定の増加18億16百万円、自己株式の増加20億83百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.1ポイント減少して70.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました通期の業績予想(売上高300億円、営業利益32億円、経常利益32億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益23億円)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,833,253	8,337,862
受取手形及び売掛金	19,869,587	20,365,065
電子記録債権	573,620	690,570
商品及び製品	1,317,562	1,206,030
仕掛品	611,779	588,241
原材料及び貯蔵品	902,029	922,936
未収入金	413,432	392,690
その他	167,696	246,286
貸倒引当金	△294,892	△318,891
流動資産合計	32,394,070	32,430,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,370,797	3,422,953
機械装置及び運搬具(純額)	2,168,326	2,112,478
土地	1,019,213	1,019,213
建設仮勘定	38,570	61,040
その他(純額)	127,337	131,913
有形固定資産合計	6,724,245	6,747,598
無形固定資産		
その他	769,519	827,990
無形固定資産合計	769,519	827,990
投資その他の資産		
投資有価証券	1,540,964	2,033,971
出資金	354,004	363,455
会員権	8,133	8,133
投資不動産	1,469,172	2,795,055
繰延税金資産	10,322	13,902
その他	325,249	324,428
投資その他の資産合計	3,707,846	5,538,947
固定資産合計	11,201,610	13,114,536
資産合計	43,595,680	45,545,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,177,120	4,671,165
電子記録債務	1,659,986	2,076,241
短期借入金	1,293,360	2,186,680
未払金	1,872,504	1,776,127
未払法人税等	381,626	212,982
賞与引当金	101,287	54,968
その他	807,883	574,827
流動負債合計	10,293,768	11,552,992
固定負債		
長期未払金	256,800	256,800
繰延税金負債	22,784	172,866
退職給付に係る負債	154,187	153,590
固定負債合計	433,772	583,257
負債合計	10,727,540	12,136,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,117,501	1,117,501
資本剰余金	1,825,186	1,825,186
利益剰余金	24,439,310	24,789,945
自己株式	△1,201	△2,085,001
株主資本合計	27,380,796	25,647,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	497,440	839,663
為替換算調整勘定	3,739,657	5,556,575
退職給付に係る調整累計額	△1,364	△951
その他の包括利益累計額合計	4,235,733	6,395,287
非支配株主持分	1,251,610	1,366,159
純資産合計	32,868,139	33,409,079
負債純資産合計	43,595,680	45,545,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	20,244,068	19,184,675
売上原価	15,063,112	14,217,716
売上総利益	5,180,955	4,966,959
販売費及び一般管理費	3,454,731	3,407,377
営業利益	1,726,224	1,559,581
営業外収益		
受取利息	96,796	110,396
受取配当金	70,170	73,036
為替差益	23,405	50,772
企業発展助成金収入	155,156	56,872
その他	65,665	39,896
営業外収益合計	411,193	330,974
営業外費用		
支払利息	41,910	18,928
手形売却損	17,268	28,471
その他	4,595	6,866
営業外費用合計	63,774	54,266
経常利益	2,073,643	1,836,289
特別損失		
固定資産売却損	3,202	—
投資不動産売却損	—	13,908
訴訟関連損失	—	96,135
特別損失合計	3,202	110,043
税金等調整前四半期純利益	2,070,440	1,726,246
法人税等	604,170	488,332
四半期純利益	1,466,269	1,237,913
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,398	18,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,471,668	1,219,219

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,466,269	1,237,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,408	342,223
為替換算調整勘定	2,938,683	1,912,773
退職給付に係る調整額	2,967	413
その他の包括利益合計	2,912,242	2,255,409
四半期包括利益	4,378,512	3,493,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,235,352	3,378,773
非支配株主に係る四半期包括利益	143,159	114,549

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年8月31日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項を決議し、2023年9月1日付で自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により2,300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,083,800千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,085,001千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。